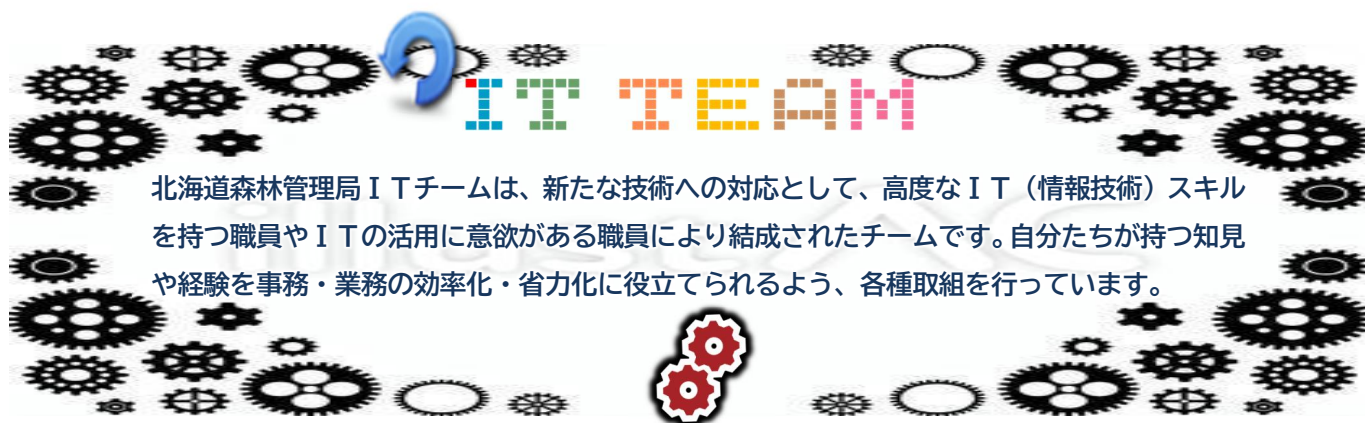




北海道森林管理局 I T チームは、新たな技術への対応として、高度な I T（情報技術）スキルを持つ職員や I T の活用に意欲がある職員により結成されたチームです。自分たちが持つ知見や経験を事務・業務の効率化・省力化に役立てられるよう、各種取組を行っています。

【はじめに】

北海道森林管理局では、約304万ヘクタールの国有林の管理・経営を行っています。

職員は、林野巡視、森林調査、造林・素材生産・治山・林道などの事業発注や監督・検査、災害調査などの各種業務、また、それらに付随する事務を行っています。

これらの事務・業務の改善などを推進することを念頭に、2024年5月に「I T チーム」を結成しました。

業務調整課、企画課が事務局となり、局・署等から I T スキルに長けた職員や I T の活用に意欲ある職員を募集し、21名が集まりました（令和6年度末現在）。

以下、I T チームの取組内容を紹介します。



第1回勉強会（2024.11.12）の様子

【I T チーム設立の経緯】

これまで、普段の事務・業務の中で、「自動化することができたらいいな」、「減らせたらいいな」といったことを解決しようとする、身近にいるスキルを持った職員に頼ってしまい、組織として対応できていない状況でした。

そのような中、職員から「チームとして便利ツールの開発や普及、フォローアップを行うことで、職場全体のスキルの底上げを図ってはどうか」と

いう提案があり、I T チームを結成する運びとなりました。

【I T チームの取組】

I T チームでは、まずは三つのことを目標としました。

- ・ **減らす**：ミス、作業時間等の削減
- ・ **増やす**：現場に出る時間等の増加
- ・ **深める**：情報の精緻化、高度利用

具体的には、便利な I T ツールやマニュアルを作成し、それらを分かりやすく発信することで、職員の日常業務をサポートすることを目指しており、現在、職場内の各種課題等も踏まえ、以下のプロジェクトに取り組んでいます。

○通常業務で活用しやすい Q G I S※1のデータセット

○業務用語をパソコンの辞書（I M E 辞書）に一括で登録できるツール

○ショートカットを活用したテクニック集

○Microsoft Forms※2の活用

○現場業務（森林調査、災害調査など）に L i D A R 機能を有するスマートフォンの活用

○各ツール、マニュアルを職員へ普及させるための普及方法検討プロジェクト

○Q G I S で活用するプラグインの紹介

（チーム員が開発した QGIS 基本データセットの
マニュアル（抜粋））



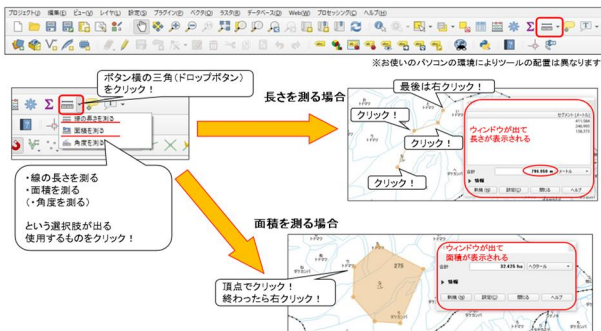
QGISの基本的な地図操作

ここでは、QGISの基本的な地図操作を紹介します

1. 画面の移動／拡大縮小操作
2. 林班の検索
3. 小班などの情報を見る
4. 距離や面積の計測
5. 縮尺／角度の設定

4. 距離や面積の計測

距離や面積の計測は、ツールバーの以下の場所で行います



【活動のPR】

2025年1月以降、「ITチーム新聞」を発刊し、活動やツール類、ITへの興味関心を高めるための情報を職員に向けて発信することにしました。



ITチーム新聞 Vol.1

あわせて、職員共有のSharePoint※3内にITチームのサイトを立ち上げ、ツール開発状況などを確認できるようにしています。

また、ツール利用者の声をプロジェクトに反映させる取組として、投稿用フォームによる意見・要望の収集も行っています。

【浮かび上がった課題】

これまでの活動を通じて、ツールの成果や参加者の意見を職員に効果的に共有するには、より一層の工夫が必要ということが分かってきました。

また、チーム員間のやりとりについてはwebを

主体としていますが、新ツールに関する打合せ不足、メンバー間の知識差、ITチーム参加への心理的ハードルなどが明らかになり、一部メンバーに負担が集中する状況が見受けられました。

このことから、サポート体制や基礎的な勉強会を定期的実施し、ITに詳しくない職員でも参加できる雰囲気を作ることで、気軽にITについて関心を持てるようにしていきます。



プロジェクトの一つ
「現場業務にスマートフォン機能を活用」
山腹崩壊箇所撮影



スマートフォンのLiDAR機能により3D化(点群データ化)

【最後に】

ITチーム員は、日々試行錯誤しながら通常業務と並行してアイデアを出し合い、職場が抱える各種課題解決に資するよう活動しています。

「あんなこといいな・できたらいいな」を実現できる「〇〇えもん」になれるよう日々活動を続けており、徐々に職員にも認知されてきています。

今年度も組織全体の活性化につながるよう、事務・業務の改善に資するプロジェクト活動やその普及を行っていく考えです。

用語の解説

※1：QGIS（地理情報システムの一つで、閲覧、編集、分析の高度な機能を有し、誰でも自由に利用することができるオープンソースソフトウェア）

※2：Microsoft Forms（マイクロソフトが提供する社内・社外のアンケートやテスト、お問い合わせ形式などを作成・配布・集計できる特定の目的をもって開発された専用のソフトウェア）

※3：SharePoint（マイクロソフトが提供する企業向けの情報共有・コラボレーションプラットフォーム）